

～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★第1学年 SAH study club 発足!★

非認知能力を高めることで、認知能力(学力)をも高めることを実践しようと、勉強をがんばりたいと思っている生徒を募って「勉強クラブ」を立ち上げました。補習的な活動も行いますが、メインは非認知能力を高める活動を通して「勉強の自走化(習慣化)」を図ることにあります。現在1学年では32名の生徒が参加しています。取組内容や生徒の感想などを紹介いたします。

(1学年主任 高田 慧)

1. 取組内容の紹介

①ふりかえりシート

この取組が study club の活動のメインになっています。自分で1週間の学習計画を立て、それがどれくらいできたかを振り返る。簡単そうですが、続けるには意外と根気が必要です。

このシートの目的は、自分の学習を振り返ることで反省点を明確にし、それを次週に活かしていくことにあります。いわゆる **PDCAサイクル** をしっかり回そうというものです。計画通りにいかなかったのはどうしてか、自分の怠けなのか、そもそも計画の見通しが甘かったのかなどと目を背けずに自分と向き合うことで「粘り強さ」や「計画立案能力」といった非認知能力が養われるはず。勉強を頑張りたいと思って club に入ってきている生徒たちですから、計画通りにいかないことやがんばれていない自分に気づくことは相当なストレスだと思いますが、そんな自分と向き合い、逃げずに頑張ることで学習習慣は必ず身につくと考えています。

また club には4名の顧問がおり、それぞれ担当する生徒が提出されたふりかえりシートにコメントをつけて返却しています。生徒たちもそれが励みとなってくれているのうれしい限りです。提出できた生徒は毎週シールを貼ってマスを埋めていきます。高校生っぽくないかもしれませんが、意外と好評のようでどのシールを貼ろうか悩む姿が見られ、楽しんでいる様子が伺えます。



②ベネッセ講師による講演会

study club の最初の取組として、ベネッセ関東支社さんをお願いして講演していただきました。大学受験に向けて1年生から取り組むことの大切さや、1日でどのくらい勉強すべきか、また模試を中心に据えた復習の重要性などをお話いただきました。Classi を利用した個別最適学習の有用性についても紹介してくださいました。今やるべきことが明確になり、生徒たちの満足度は高かったと思います。



③意見交換会 & ④模試対策ミニ講座

毎週金曜日の放課後に短時間のミーティングを実施していますが、部活動や用事がある生徒はそちらを優先してもらっています。その後、残ることができる生徒だけで勉強法についてお互いに情報交換をしたり、自主勉強をしたりしています。

模試の前には、各教科の課題となっている分野を集中的に学習しました。過去問を解き解説を聞いたり、教え合ったりして学びを深めました。

同じ志のメンバーが集うことで発生する相乗効果は計り知れません。一人ではつい手を抜いてしまいそうなことも、仲間がいればがんばれることも多いのです。ライバル関係も自然とでき、お互いを高めあう雰囲気生まれています。クラスの垣根を超えた人間関係の繋がりも心強いはず。

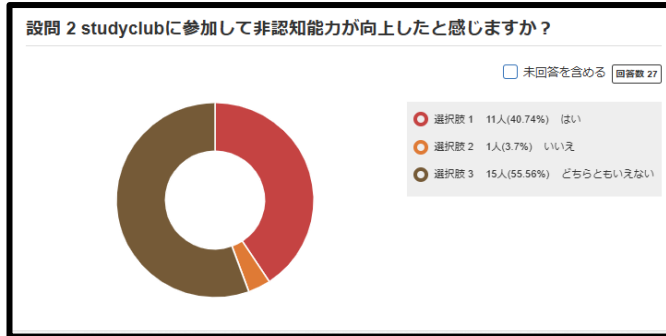


SAHstudyclub マスコットキャラの「まえにゃん」です。メンバーである1-4 森川心晴さんが考えてくれました。

2. 生徒のアンケート結果

項目① studyclub に参加して非認知能力が向上したと感じるか？

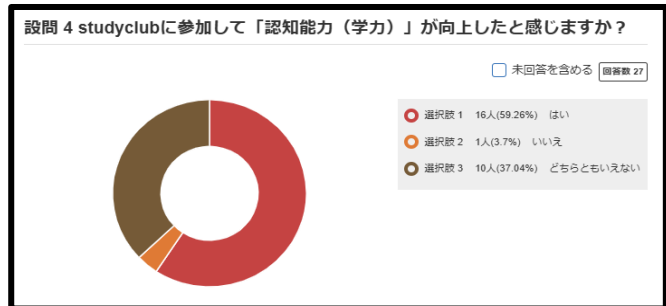
項目② どのような非認知能力が向上したと感じますか？



- ・自分で計画を立てて勉強する能力が身についた。
- ・ふりかえりシートによって、**計画力・忍耐力・問題解決力・探究心・意欲**が向上した。
- ・毎日自主的に勉強するようになりました。
- ・毎週、一週間の振り返りシートに取り組むことで生活や学習の計画をしつかり立てることが出来るようになり、**計画立案力**などが向上したと感じた。
- ・記録するってなったら頑張ってるやってみようと思えた。 など

項目③ studyclub に参加して認知能力が向上したと感じるか？

項目④ どのような取組によって認知能力が向上したか？



- ・計画表で自分がどのときどんな理由でできなかったのがわかるので、来週の改善につながったので、効率的に勉強ができ、少しだけ点数が上がった。
- ・入力するために学習時間を伸ばす意欲が沸いた。
- ・**自主的に勉強する**機会が増えた。
- ・毎日を振り返り、先生からコメントをもらうことで**ダメだったところは改善して良かったところは自信**につなげることができました。
- ・実力テスト前に講習会をやったこと。先生のミニ講座。 など

項目⑤ studyclub で感じたことは？

- ・study club に入ったことで、日々の勉強時間を意識するようになりました。
- ・前もって計画を立てることで、スムーズに勉強に移ることができて、無駄な時間を少なくできていると思います。模試の結果も前回より上がっていたので、これからも頑張っていきたいなと思います。
- ・みんな勉強にやる気があって、それを見て頑張ろうと思えるのでよかったです。
- ・振り返りに0分と書くのが嫌だから勉強しようと思った日もありました。この調子で自分の認知能力も向上できるように振り返りは必ず継続していきたいです。
- ・勉強のことで喋れる仲間が増えた。
- ・自分と向き合うことができるのは良い点。 など

[分析]

項目①、③では「どちらともいえない」の割合が高いですが、今後継続することで「はい」が増えることを期待しています。非認知能力より認知能力の方に「はい」が多いのは、目に見えて結果が分かるからだろうと思います。非認知能力が身についたと評価することの難しさを感じています。

3. 生徒たちの感想

僕は SAH study club の活動のひとつである「ふりかえりシート」で、毎日を振り返ることによって**勉強する習慣や様々な力**が身につきました。毎日を振り返り、良かった所は自信に繋げてダメだった所は改善していくことで、普段の生活での勉強への意識が前よりも高くなりました。また、今週の目標や翌日の計画などを立てることによって「**計画を立てる力**」、「**行動する力**」が向上したと思います。1 週間を振り返ると達成感もあります。前よりも勉強をする時間や内容が良くなっていると思うのでこれからもこの活動を続けていきたいです。(1-5 船津亜蓮)

私は、SAH study club の活動である「ふりかえりシート」を書くことにより、**最上位目標**を達成するためにやるべきことを明確化させ**目標に沿った計画を立てる力**が身についたと思います。一日一日それぞれやるべきこと前もって計画を立てることにより、当日になって何をすべきかと考える時間が少なくなり勉強により時間を割くことができるようになりました。また最上位目標から逆算して考え日々の計画を立て、毎日それをこなしていくことにより、**達成感が感じられる**と同時に目標に向けて確実にステップアップできていると感じています。これからも着実にステップアップできるようにこの活動を続けていきたいです。(1-1 大崎心結)

僕は SSC に入って勉強をする習慣が身につきました。SSC では勉強を強制されず、先生は僕たちが**主体的に行う勉強をサポートするだけ**なので、とても気が楽な環境で勉強できました。段々と**勉強を嫌々やるのではなく、わずかな時間からでも自分からするようになりました**。また他の生徒と会話や一緒に勉強をするなどの交流を通して、勉強することに抵抗がなくなりました。結果 SSC に入って勉強をする習慣が付き、模試で大きく成績を伸ばすことができました。(1-4 佐藤駿成)

★教頭より★ 桐高で学年主任をしていた時に『自走化』をスローガンに『キラタカ半端ないって!』という名のプロジェクトを立ち上げました笑 生徒一人ひとりが『模試結果分析』を基に『次の模試までにやるべきこと』を決め、取り組み、受験し、また、結果を分析する、の繰り返しです。PDCA ほどメジャーではないですが『OODA (ウーダ) ループ』もいいですよ! 『Observe (観察&分析)・Orient (判断)・Decide (意思決定)・Act (実行)』です! study club の成果が早速 11 月模試結果に出来ましたね! 勝負は2年後の大学入試本番ですから模試の結果に一喜一憂せずね! 次は1月模試! 1月は英検もありますので『英語強化月間』です! 教頭 星野 亨

★校長より★ SAH Journal の Vol.63 でも書かせていただきましたが、高校生を目指す「主体的な学び」の一つに「高3で受験勉強を自分でマネジメントできる」ことがあると思います。そのために必要なこととして①基礎的な学習内容の理解、②自分自身の理解(メタ認知)、③入試問題の理解、④①~③を組み合わせ「学習」を組み立てる方法の理解が必要だと考えています。SAH study club の活動は「自身の受験勉強のマネジメント」に向け一歩を進めるとても有効な方法だと考えます。どうか、SAH study club の皆さんには、「主体的な学び」の面白さを味わってほしいと思います。 校長 原 拓史